

会議議事録

				記録者	副主幹 近藤 響英	
供 覧	部長	次長	課長	課長補佐	主査・係長	G 員
件 名	令和 8 年度第 1 回龍ヶ崎市行政経営評価委員会					
年 月 日	令和 8 年 8 月 7 日（金）					
時 間	午後 2 時から午後 3 時 30 分まで					
場 所	龍ヶ崎市役所 5 階 全員協議会室					
出席者	【行政経営評価委員】 大橋純一 委員、大西徳二郎 委員、望月進 委員、山崎進 委員、岡澤明子 委員 【事務局】 岡野総合政策部長、平野総合政策部次長 企画課 関ヶ原課長、原田課長補佐、戸崎課長補佐、堀内副主査、蛭原主幹、記録者 【事業所管課】 飯田健康スポーツ部次長 スポーツ推進課 昇課長、木村課長補佐、岡野主幹 都市計画課 秋山課長、櫻井主幹 管財課 清原課長補佐、宮本主事					
欠席者	伊澤美緒 委員、栗山武志 委員、牧野光昭 委員、菅原龍一 委員、福島有美 委員					
情報公開	公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由			（龍ヶ崎市情報公開条例第 条号該当）	
	部分公開 非 公 開					
発言者	内 容					
事務局	定刻となりましたので、ただ今より、令和 8 年度第 1 回龍ヶ崎市行政経営評価委員会を開会いたします。 本委員会は「龍ヶ崎市附属機関の会議の公開に関する条例」の規定に基づき、原則公開となりますのでご協力お願い申し上げます。 はじめに、会議の開催要件をご報告いたします。 本委員会は、「龍ヶ崎市行政経営評価委員会条例第 5 条第 2 項」の規定により、「委員の定数の半数以上の者が出席しなければ開くことができない」とされております。 本日は、委員 10 名のうち、5 名の出席をいただいておりますので、会議開催の定足数を満たしていることをご報告いたします。 なお、本日は 1 名の傍聴の方がいらっしゃいますことをご報告させていただきます。 傍聴される方におかれましては、会議中にご静粛に傍聴されますよう、お願いいたします。 それでは、はじめに、本委員会会長であります大橋会長から、ごあいさつを賜りたいと思います。					

大橋会長	委員の皆さま、本日はご多忙の中、ご出席をいただきましてありがとうございます。 次第にありますとおり、本日の会議では4つの議題について審議してまいります。 議題の1番目から3番目については、令和7年度デジタル田園都市国家構想交付金の実績報告として、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎推進事業」、「道路及び下水道台帳のデジタル化による来庁者負担軽減事業」、「健康×子育て多世代交流推進事業」の3事業について、事業所管課より各事業の取組概要や成果等に関する報告がございました。 最後に、「令和7年度龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030 に係る進捗状況評価について」として、昨年度の施策評価に関する報告が予定されております。 本日は5名と比較的少人数での開催となりましたが、委員の皆さまには、それぞれの立場より忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。 また、限られた時間の中での審議となりますので、円滑かつ効率的な進行にご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございました。 続きまして、本日の会議進行にあたり、注意点を説明させていただきます。 本会議は議事録作成のため、ご発言を録音させていただきます。 ご発言の際にはお手元のマイクのスイッチを押してから、ご発言ください。 また、ご発言が終わりましたら、スイッチをお切りいただけますよう、よろしくお願いいたします。 それでは、ここからの議事の進行につきましては、「龍ヶ崎市行政経営評価委員会条例第5条第1項」の規定に基づきまして、会長にお願いいたします。 大橋会長、よろしくお願いいたします。
大橋会長	はじめに、本会議の議事録署名人を選出させていただきます。 今回は望月委員と山崎委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。 それでは、議題の審議に入ります。 はじめに、「令和7年度デジタル田園都市国家構想交付金実績報告スポーツライミングのまち龍ヶ崎推進事業」について、担当課より説明をお願いします。
事業所管課 (スポーツ推進課)	「令和7年度デジタル田園都市国家構想交付金実績報告スポーツライミングのまち龍ヶ崎推進事業」について 説明
大橋会長	只今説明のあった内容について、ご意見・ご質問はございますか。 山崎委員、お願いします。
山崎委員	KPIのひとつである、「たつのこアリーナボルダリングウォール利用者数」の目標値について伺います。 令和8年度の目標値3,762人という数字は、市の人口比で考えると5%程度にとどまります。先ほどのご説明で様々な取組を実施していることは理解いたしましたが、単純に目標値だけを見ると対象者が少ないのではないかと感じてしまいます。 関連して、現在の利用者の年齢層について伺います。もし、特定のターゲット層があるのであれば、その層に対する目標として提示するなど、指標の見せ方の工夫が必要であると思います。 また、施設等の環境整備に対する検討について、大規模施設の整備は、年間の大会やイベントの開催日数などを考慮すると、費用対効果の面から現実的に難しいのではないかと考えます。 一方で、市内在住の方が市外のジムを拠点に練習されている現状は、非常にもったいな

	いと感じました。市として本事業に注力していくのであれば、大規模とまではいかずとも、中規模施設の整備については前向きに検討していく必要があると思います。
事業所管課 (スポーツ推進課)	KPI につきましては、令和6年度に国へ補助金を申請した際に設定した内容であり、途中での変更はできない仕組みとなっております。 設定当初は本市でボルダリングを実施できる場所が公共施設1箇所のみであったため、このようなKPIの設定となっております。市としても、取組の効果がKPIの進捗に現れきれておらずもどかしい部分がございますが、今年度におきましては、学校の授業を活用するほか、市外の民間ジムとも連携し、本市の児童生徒がボルダリングを体験できる機会を創出しているところであり、引き続き、より多くの方に体験していただけるよう取組を進めてまいりたいと考えております。 また、施設整備につきまして、本事業を進めるうえでの必要性は十分に認識しているところではございますが、昨年度実施した概算の収支シミュレーションの結果において、中規模施設であっても、数千万円規模の費用を要する見込みであり、イニシャルコストだけでなくランニングコストの負担を勘案すると、本市の公共施設に対する縮充の考え方等も考慮しながら、慎重に検討していく必要があると考えております。
山崎委員	予算を投じて様々な取組を展開していることから、学校の授業等で体験した人数なども事業の実績や成果のひとつとして別途示していくことができれば良いと思います。 施設整備については、資料中、大規模大会を開催できる環境整備が必要となる旨の記載があり、今後整備を進めていくようにも読み取れることから、先ほどの回答との乖離が生じないように、表現等についてご検討をお願いします。
事業所管課 (スポーツ推進課)	ご指摘の施設整備につきまして、本事業を推進していくうえでの必要性は強く認識しております。 しかしながら、先ほどご説明申し上げましたとおり、市単独での整備には財政的な課題もございますことから、今後は仮に公設であれば国庫補助金をはじめとした財源確保策の検討のほか、公設でなければ民間事業者等との連携や協力といった手法も含め、幅広く検討してまいりたいと考えております。
大橋会長	他にありませんか。 無いようであれば、「令和7年度デジタル田園都市国家構想交付金実績報告スポーツクライミングのまち龍ヶ崎推進事業」については終了といたします。 次に、「令和7年度デジタル田園都市国家構想交付金実績報告道路及び下水道台帳のデジタル化による来庁者負担軽減事業」について、担当課より説明をお願いします。
事業所管課 (都市計画課)	「令和7年度デジタル田園都市国家構想交付金実績報告道路及び下水道台帳のデジタル化による来庁者負担軽減事業」について 説明
大橋会長	只今説明のあった内容について、ご意見・ご質問はございますか。 私からお伺いしますが、主に事業者の利用を想定した取組であるという認識でよろしいでしょうか。
事業所管課 (都市計画課)	道路や下水道をはじめ、本市の都市計画に関連する情報を多く登載しておりますことから、主に不動産関係の事業者などが土地の情報などを調べる際に活用いただけるものであると認識しております。 その一方で、市内の公共施設の所在地などを示す「公共・生活施設マップ」なども整備しておりますことから、市民の方にも利用していただきたいと考えているところです。

大橋会長	ありがとうございます。 掲載するデータについて、これからも拡充していく予定はあるのでしょうか。
事業所管課 (都市計画課)	国への交付金申請にあたり作成した計画に基づき、今年度までデータの拡充を含めた環境整備を実施する予定です。 来年度以降のデータ拡充につきましては、必要に応じて検討を進めてまいりたいと考えております。
大橋会長	ありがとうございました。 大西委員、お願いします。
大西委員	事業実施の目的について、ご説明の中では、来庁者の負担軽減とのことでありましたが、市職員の事務負担の軽減など、付随的な効果も発現しているのでしょうか。
事業所管課 (都市計画課)	市職員の負担も減少傾向にあると認識しております。 例えば、道路台帳図の閲覧を求められた場合、従来であれば、原本が1部しか存在しないことから、職員立ち会いのもとで閲覧を実施しておりましたが、現在は、窓口に設置した閲覧用端末により、閲覧者が一人で作業できる環境が構築されているため、閲覧中の職員の立会は不要となっております。
大西委員	ありがとうございます。 台帳の破損や紛失等に対するリスクも低減されている取組であると思います。
大橋会長	他にいかがでしょうか。 望月委員、お願いいたします。
望月委員	公開されているデータを拝見しましたが、とても良い取組であると思います。 私自身、消防団に加入しており、消防水利のマップは非常に便利であると感じました。 ぜひ、他の消防団員にもさらなる周知をしていただければと思いますのでよろしくお願い致します。
大橋会長	他にいかがでしょうか。 山崎委員、お願いいたします。
山崎委員	本事業の事業費について伺います。 資料に掲載されている金額は、導入に係る初期費用であるかと思います。 メンテナンス費用等、毎年発生するランニングコストについて教えてください。
事業所管課 (都市計画課)	令和7年度の実績で申し上げますと、合計で約1,700万円となっております。 主な内訳といたしましては、道路台帳図の更新作業に715万円、その保守に79万円、下水道台帳の更新に560万円、その保守に79万円となります。 その他、掲載データの拡充に係る費用として187万円、また、システム自体の利用料及び保守費用として112万円が発生しております。
大橋会長	他にありませんか。 無いようであれば、「令和7年度デジタル田園都市国家構想交付金実績報告道路及び下水道台帳のデジタル化による来庁者負担軽減事業」については終了といたします。 次に、「令和7年度デジタル田園都市国家構想交付金実績報告健康×子育て多世代交流推進事業」について、担当課より説明願います。
事業所管課	「令和7年度デジタル田園都市国家構想交付金実績報告健康×子育て多世代交流推進事業」について 説明

(管財課)	
大橋会長	只今説明のあった内容について、ご意見・ご質問はございますか。 山崎委員、お願いします。
山崎委員	日頃からコミュニティセンターの予約をオンラインで実施しております。 予約にあたり、施設に赴く必要が無く、夜間でも空き状況が確認できるとともに、操作も簡単であるため大変便利であると感じています。
大橋会長	ありがとうございます。 私も利用しており、日々便利になっていると感じています。 こちらの設備やシステムに対する年間の維持費について教えてください。
事業所管課 (管財課)	買い切りの設備、システムでありますことから、本事業に係るランニングコストについては現在のところ発生しておりません。
大橋会長	他にありませんか。 無いようであれば、「令和7年度デジタル田園都市国家構想交付金実績報告健康×子育て多世代交流推進事業」については終了といたします。 最後に、「令和7年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030 に係る進捗状況評価」について、事務局より説明願います。
事務局	「令和7年度龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030 に係る進捗状況評価」について 説明
大橋会長	只今説明のあった内容について、ご意見・ご質問はございますか。 私から質問させていただきます。 評価結果については、従来と比較して全体的に上昇傾向にあると思います。 そのような中で、依然としてC評価となっている施策における具体的な取組内容や今後の改善に向けた展望などがありましたら教えてください。
事務局	今回、C評価とした施策は全部で3件ございます。 1件目、「支え合う地域福祉の実現」に関しては、移動スーパー等の実施による買い物支援を新たに実施しているほか、引き続き、高齢者や障がい者の方に対する相談体制の充実を図っていく予定です。 2件目、「暮らしの安全・安心の確保」では、防犯カメラの設置やカーブミラー等の交通安全施設の設置をはじめとした取組を展開しております。 本施策の現状といたしましては、交通事故の発生件数や刑法犯の認知件数などの数値が大きく改善していない状況にあることに加え、昨今の犯罪情勢などを背景に、より安心な生活環境を求める声が強まっており、治安対策等に対する市民の皆様の満足度も伸び悩んでいるものと認識しておりますことから、今後も引き続き、防犯カメラや防犯灯の設置のほか、交通安全施設の設置を進めていきたいと考えております。 3件目の、「快適でシームレスな移動環境の整備」につきましては、令和7年4月に市で運行しているコミュニティバスや乗合タクシー、AI オンデマンド交通等を含めた公共交通の再編を実施したところでありますことから、引き続き利用状況の変化等を把握しながら、今後の取組に反映してまいりたいと考えております。
大橋会長	ありがとうございました。 山崎委員、お願いします。
山崎委員	主要施策の成果報告書に記載されている「中学校3年生給食費無償化事業」についてお

	伺います。 国等の支出金を活用し、市の財政負担が少ない中で実施できている事業かと思いますが、子育て世代の支援策として、昨年度の会議にて申し上げましたとおり、やはり中学生全学年を無償化の対象とするなど、事業の拡大を検討すべきであると考えます。 実際に都内の自治体などでは既に導入されている取組であり、本市への子育て世代の移住や定住の促進にもつながる取組になると考えますが、対象拡大に向けたその後の検討状況や見通しについてお聞かせください。
事務局	昨年度は、国の重点支援地方創生臨時交付金を活用し、中学校３年生を対象とした給食費の無償化を実施いたしました。 また、今回の資料には掲載がございませんが、併せて物価高騰分に対する給食費の支援も行っております。 今年度につきましては、金額に上限はございますが、国において小学生に対する給食費無償化に向けた支援策が展開されております。 本市では、これに加えて、今年度分の同交付金を活用し、中学校１年生から３年生までの全学年に対象を拡大して給食費を無償化する取組をすでに実施しているところであります。
山崎委員	財源の確保が重要であることは理解いたしますが、国等の補助金があるから実施するのではなく、市として引き続き、若者や子育て世代への支援に注力していくという姿勢を示していただければと思います。
事務局	若者世代への支援につきましては、本市としても力を入れていくべき分野であると認識しております。 一方で、こうした経済的支援を実施するにあたりましては、財源の確保が常に課題となりますことから、国の交付金などを最大限に活用しながら取り組んでいるところであります。 具体的に、今年度は、１９歳から３９歳までの方を対象にデジタル商品券を配布するほか、令和８年度にお生まれになるお子様に対し２万円を支給するなどの取組を展開するなどの取組を展開しております。 財政的な制約により、他事業とのバランスを考慮する必要はございますが、若者世代を対象とした事業については着実に拡充を図っているところであり、今後におきましても、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。
大橋会長	ありがとうございました。 大西委員、お願いします。
大西委員	Ｃ評価の施策、「快適でシームレスな移動環境の整備」について伺います。 評価の主な理由として、依然として市民の期待との乖離がある旨のご説明をいただきましたが、具体的にどのような期待が寄せられているのかについて教えてください。
事務局	市内での移動という点において、やはり、好きな時に好きなところへ行きたいというご期待が根強くあるものと認識しております 市の公共交通といたしましては、より多くの方に移動環境を提供するという考えのもと、個々のニーズすべてにお応えすることは困難な面もあるかとは思いますが、今後、公共交通の再編等を行う際には、様々な施策の組み合わせにより対応を検討していきたいと考えております。
大橋会長	他にありませんか。 無いようであれば、これにて本日の審議事項は以上となります。

	円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。進行を事務局にお返しします。
事務局	長時間にわたるご審議ありがとうございました。 本日委員の皆様からいただいたご意見等を今後の事業等に反映し、取組を進めてまいりたいと思います。 会長及び署名人のお二人には後日、本日の議事録についてご確認いただきご署名をお願いいたします。 本日の会議出席にかかる委員報酬等につきましては、皆様からご指定いただきました口座へ2週間程度を目途にお振込みをさせていただきますので、通帳記帳等によりご入金の確認をいただければと存じます。 以上をもちまして、令和8年度第1回行政経営評価委員会を閉会といたします。皆様、ありがとうございました。
令和 年 月 日 議 長 _____ 議事録署名人 _____ 議事録署名人 _____	